

FIKO NEWS FLASH

横須賀市田浦町船部

栄光中学新聞部

March 1949

No. 3.

デッキカ大佐訪問

特派員 2A

三月九日横須賀地区司令官デッキカ大佐の所へわれわれ新聞部三名は校長先生につれられて参上した。午前十時海軍地区司令官室に行き、校長先生に紹介されて握手をかわし早速一問一答を始めた。(勿論全部英語である)向「日本に前いられた事があるか」答「戦争前一及三九年に各藤大使の遺骨を持つて来た事がある」向「日本に来て日本人についてどう考えられるか」答「戦争中日本は天山山嶺に居ましたが軍需を除いては皆良し人だ」向「あなたも横須賀に来られた時どう思われたか」答「その司令部などはとても設備が良かった。それにここにある銅板には以前の横須賀八四司令官の色が彫つてある。私はこの色でなく」向「何故あなたは横須賀にいられたか」答「私達の学校について満足されているか」答「Yes」

向「どのくらい好きですか」答「Yes」向「この力を強いませえだつた」答「お世評かと思つたが、そうではなさそうに真実的な事だ」向「なぜかと言うとウオス神父様はキリスト教もつて日本を拒絶する人です」向「あなたに何か希望が有りますか」答「あなたも信者、日本は勿論世界の人々に懸す事の出来る様な人になつて下さい」

天國の門

入学試験の地獄をみごと交戦して、三六五の志願者の中から本校に入学出来る生徒は一五九名である。いま地区別に入学状況をみると横須賀は志願者一五九名、合格者は六五名、鎌倉、葉山、逗子地方は、一三五名に對して六六名、藤沢その他の地方は、七一七名に對して二七七名であつた。百分率で表わせば、横須賀から四一%、鎌倉地方から四二%、横須賀その他の地方より一七%となつてゐる。

初対面

三月五日、入学試験合格者が希望に當ちて本校に集つた。今日は新入生の初対面だ。今日ある。会が始まつて一五九名の新入生がずらりとならんだ。はじめてあつた。まず校長先生が起ち「入学おめでとうございませうと真心のこもつた声であつた。入学者のこもつた声であつた。校長先生はさすばらに新入生達に話しかけられ、私達は皆驚きの喜びにあふれた顔が見えかけた。先生がこうに生徒のことを思つて下さる本校は幸福である。続いてシユトルテ先生、「諸君はこの学校に入学できたのですから、これから栄光の生徒らしく態度を振らなくてはならぬ」とおつしやられた。新入生がしつかりしてゐなくては何もなつてしまふ。私達は在校生は新入生の模範にならうな

夕陽体育會
三浦半島一周
競歩會

去る二月十六日水曜日の遠足の代りとして、いつも遠足に味方な、自然美の観賞、健全な運動を含得ると云う名目のもとに本校最初の競歩會が行われた。
当日午前八時久里浜駅前集合、晴天で皆奮切つてゐた。先生の注意の後八時十五分出発。コースは引越、萩谷、葉山と三ヶ所の肉脚を通り皆緑意がこころいである。全コースの道程は三〇・五軒。途中の風景はといえ、海岸沿いにはるかに望む青い海、伊豆、大島、真白に雪をいじいだいた富士山等、すばらしいパノラマであつた。有名な三浦大根を高く積んだトラックにあつたり、先生方を胸前に送る学校のジープの中から「カンパレ！」と天狗さんにはげまされたりして皆元氣一ぱい歩いて、今回の競歩會の注意として特教を指示したのは
一心事二人以上で歩く事、一人で歩くものは優勝者となる事が出来ない、途中景の良い場所を渡された画面紙にスケッチをして、また詩歌を一つ作つてくる。
(この二つを行わねばやはり失格)一週担当、スケッチの風の吹用時間向は少なくとも十五分ずつとする。この三つであつた。
三月十九日午前十時競歩會の時優勝者と校長が行なわれた。全優勝者、2A P川濱(時間一組四時四二分後B組、詩A組)

六分、給日額、詩A級、その
四時向、給、詩別に入塾者が発
表されて賞品を貰った。

全慶助者の詩は
出来と云われた時のその長持
どんな苦難も突破せんがな、
した左れる汗をぬぐいつ向う
にはわが目的地を見せりや
葉山町三番とぬい巨達しさに
富士のたかねも心地よく見ゆ。

新学年ニュース

新教室

新入生の教室は？ 新二年生
の古教室が新入生のもものなる
お古を使うわけだ。新二年生は
新三年生と同様二階だぞうだ。
校長先生は新三年生は屋上だと
五つて再られたが、せいで
日曜日に死つてしまふ。三年生
と二年生が同じ所だと、ざざ乱
とうが絶ない事である。

新校舎

新校舎が一つ出来る。理科教
舎である。今までは外観だけ黄
色にぬられてあつたが、四月十
日頃から使用する予定であり講
義室、実験室、準備室がある。
今後は、充分に理科研究の腕を
発揮できる事と願う。これは何
といつても、理科庄にとつては
快報である。そして理科教室と
共に、外観だけであつた、講義
体育館も並く工事にしつかり、
一学期中には出来上る予定であ
る。私産は、私産のために、い
ろく至般備をしてくれる学校
に感謝しなければならぬ。

新先生

新学年が始まると共に新しい
先生方が着任なさる。この先生
方は、声にからし、むちをふり
あげて、叱咤にいらすらす新入生
にたちかわられるであらう。
御名前は、英語→向井健行、
ウィルヘルム、ラハイ、ポーブ、
フオース、國語→人見純一、
数学→塩口好、社会→森本廣之
助、当量飼養、生物→淡野剛。

新しい奨学金

今の一年生に新しく奨学金が
与えられる事になった。このお
金は合衆國のフィラデルフィア
のあるカトリックの学校から送
られてきたもので、成績がよく
且つ家庭が経済的に困つてい
る生徒一名にふくられる事にな
つた。これは四月の入学式の時
にふくられる予定となつてい
る。

校長先生が

今度横須賀市に、市民生活を
たのしく住みよくするのために弘
報委員会が出来た。そして校長
先生もこの委員のいすにすわ
られた。

送られてきた

今度大谷茂氏の御好意で動物
学雑誌一冊から四八巻まで全部

新しいで書きたうけた。この雑誌
には明治二十一年から発行され動
物学に關する重要な研究が收め
られてゐる。そしてその名は世
界的にも知られてゐる。特に最
初の数巻は現在仲々に入手困難
で貴重なものとされてゐる。
私産は本誌を借じて寄贈者の
絶大なる御厚意を感謝すると共
に、本校図書館に加へられた一
冊力を大いに喜んでゐる次第で
ある。

榮光の昔

三月六日の日曜、郷土研究家
赤星先生を中心に向真、本宅先
生と一帯に学校附近の遺跡を踏
べに行つた。海岸の崖に出来た
自然洞窟は太底昔の人々の利用
されてい居さうで、こう云ふ穴
を目当てに取をわけたり、岩を
置つたりしながらゆくと、海岸
から十二三米のところ三つ四
つ同じ高さにならんだ穴がある。
昔の人が埋葬につかつたものら
しいと云ふ。置つてその一つに
入ると天井に白い鐘乳石がつけ
てゐる。壁をさしさいに見ると幾
つてゐるのみの跡は確かに古い
時代のものである。きつとこの
附近に此処を使つた人々の住居
跡があるはずだと云ふので、一
同兼加つては馬跡のさうさくは
かゝることとした。しばらくし
て道に落ちていた土器の破片が
きつかけになつて堀の土を切り
取つた所に包首を発見するこ
とが出来た。祝部式の土器の破
片、赤土式から発見した種類の
川皿、壺などのかけらが堀り出
された。

勉強を

第一に

病気で学校を休らく休んでい
る友は一応いどうして居るだろ
うか。東京目白駅より二〇分、
東京都下落合の國際聖母病院に
入院中の石井君を尋ねて見た。
一部屋を二人で使つてゐるが、
さゆうくつでなごうな部屋に
石井君は静養中であつた。血色
も少し分良くなり、もう大丈夫
らしい。で三月の中旬さる退院
するさうだ。だが十二月中旬の
らの長い間石井君は何をして來
たであらうか。英語は毎金曜日
にエイレンボツシコ先生に習ひ
数学は毎火曜日にケール先生に
教わつていた故この二課目はか
えつて僕等より進んでゐるよう
である。他にほはるまつるしに加
手さ果めてゐる。切手は世界の
厂史を物語るると云うように、英
の戒めにも、勉強にもなるさう
である。やはり病気で休んでい
る猪本君は近所に友達が大勢い
るので勉強には不自由しない。
猪本君もひまには切手を果め觀
賞してゐる。又犬も飼つてゐる
さうだ。

生徒の声

△ボールペンと 万年筆△

いつかシュトルテ先生から、
学校へ毎年筆を持つて來ては
けなしいといわれたことは、衆
知の通りです。これによつて、
学校はインキで汚されないはず
です。しかし私は筆が学校がイ
ンキによつて汚されてゐるのを
見ました。それはある生徒がボ
ールペンをさうしてゐた時、
こよりでインキを入れる所を、
しこしこすりインキを落して
ました。さうじが終るとそのこ
よりを床へなげ、筆をこしこし
こすりました。そのせめ床は平
気味な色に塗られました。
これでは何のために毎年筆を
学校へ持つて來てはけなしいの
か意味がなくなりませう。
皆でもう少し皆の校舍を汚さ
ないようにつとめませう。

ている中に、昔の人の切実な生
活の一片であるこれらの遺物は
は愛用してゐた人の心がこもつ
てゐるよりに思はれ、この土器
が千三百年の昔と僕を結ぶつて
てくれるよくな気がして。
これを手にしてゐた人ほどん
な人だらうか古雷の音語りか聞
きたいものだ。

この二人の場合は切手であるが
これらの人にはこの意味が一つ
適當であらう。僕らもいつも勉
強を第一にし次に何か趣味のも
のを一つ位取るべきである。と
思う。